

# 道路空間の整備計画案の比較検討表(第2回委員会資料)

参考資料1

比較案	現況	基本案
計画概要		側道を廃止し、歩道を拡げ『ゆとり空間』とする案
イメージ図		
横断面図		
平面図	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ : 車道部</li> <li>■ : 歩道部</li> <li>■ : 植樹帯</li> <li>■ : バス停</li> <li>■ : バス優先レーン</li> <li>■ : 自転車部</li> <li>● : 樹木 (けやき、いちよう)</li> <li>■ : 停車帯</li> </ul>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ : 車道部</li> <li>■ : 歩道部</li> <li>■ : 植樹帯</li> <li>■ : バス停</li> <li>■ : バス優先レーン</li> <li>■ : 自転車部</li> <li>● : 樹木 (けやき、いちよう)</li> <li>■ : 停車帯</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①けやき並木が良好な景観を形成</li> <li>②側道を利用することで、沿道利用や荷捌きが便利</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①『ゆとり空間』設置により、自転車歩行者を分離し、イベントへの有効利用可能な憩い空間の創出</li> <li>②交差点での交通事故防止 (横断距離の短縮・側道の廃止)</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①側道に起因する事故が多発</li> <li>②憩い空間の確保が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①沿道施設から遠くなり、荷下さばき等沿道利用者へのサービスの低下</li> <li>②停車帯スペース等によるけやきの移植・撤去が必要</li> </ul>

比較案	代替案第1案	代替案第2案
計画概要	現況の駅前～北ノ新地交差点間と同様の断面構成とする案	道路中央部に植樹帯と遊歩道を設ける案
イメージ図		
横断面図		
平面図		
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①交差点での交通事故防止（横断距離の短縮・側道の廃止）</li> <li>②基本案に劣るが、イベント利用可能な空間を創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通り中央部への遊歩道の設置により、イベントへの有効利用可能な憩い空間の創出</li> <li>②交差点での交通事故防止（横断距離の短縮・側道の廃止）</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①街路樹(けやき)等の撤去・移植が必要</li> <li>②自転車道の設置スペースが無く、自転車と歩行者を分離するスペースが確保できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通り中央部に遊歩道の連続性を確保するため、一部交差点において交差道路の横断が遮断される</li> <li>②本線と側道との間の、街路樹(けやき)等の撤去・移植が必要</li> <li>③歩行者と自転車の分離ができない</li> </ul>

比較案	代替案第3案
計画概要	側道を狭め、駐車スペースと歩道にする案
イメージ図	<p>イメージ図は、道路の断面を3Dで示しています。左側には歩道（4.0m）があり、その隣には植樹帯（1.5m）と歩道（2.5m）が設けられています。歩道には「いちよう」という種類の木が植えられています。歩道の隣には側道（3.5m）があり、さらに隣には分譲帯（2.3m）があります。道路の中央には本線（バス優先レーン）と本線（バス優先レーン以外2車線）があり、中央には中央分譲帯（2.4m）があります。また、バス専用レーン（バス優先レーン）も設けられています。全体的な幅は50.0mです。</p>
横断面図	<p>横断面図は、道路の幅を50.0mとして示しています。左から右へ、歩道（4.0m）、植樹帯（1.5m）、歩道（2.5m）、側道（2.5m）、バス優先レーン（2.3m）、バス優先レーン（3.0m）、車線（3.0m）、車線（3.0m）、バス優先レーン（3.0m）、側道（2.3m）、歩道（2.5m）、植樹帯（1.5m）、歩道（4.0m）が示されています。また、バス専用レーン（バス優先レーン）も設けられています。</p>
平面図	<p>平面図は、道路の平面を2Dで示しています。歩道、植樹帯、側道、バス専用レーン、バス優先レーン、車線、バス専用レーン、側道、歩道が示されています。また、バス専用レーン（バス優先レーン）も設けられています。</p> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ : 車道部</li> <li>□ : 歩道部</li> <li>■ : 植樹帯</li> <li>■ : バス停</li> <li>■ : バス優先レーン</li> <li>■ : 自転車部</li> <li>● : 樹木 (けやき、いちよう)</li> <li>■ : 停車帯</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①けやきの保全が可能</li> <li>②側道を利用し、自転車歩行者を分離</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①歩道においてイベントへの有効利用可能な空間が少ない</li> <li>②交通事故防止のため、交差点での別途対策が必要</li> </ul>